

1.3 構造化プログラミング用のチャート

これまで使用してきたチャートの場合、分岐やループを構成する場合、必ず分岐先の線を結合する必要がある。この結合作業はバグを作る原因となる。そこで、分岐先やループさせる先で線を結合しないで済むチャートが必要となる。結線しない構造のチャートは木構造のチャートと呼ばれる。図 1.5 と図 1.6 にそれぞれ TS チャート、PAD とよばれる木構造のチャートを示す。

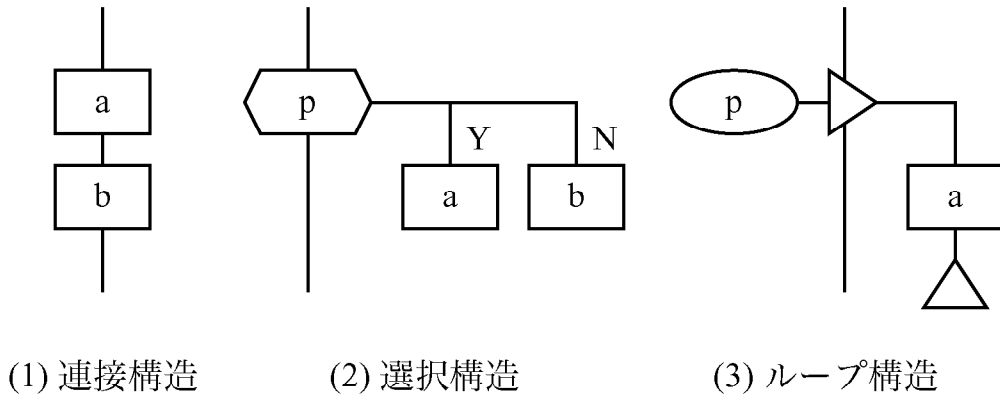


図 1.5 TS チャート

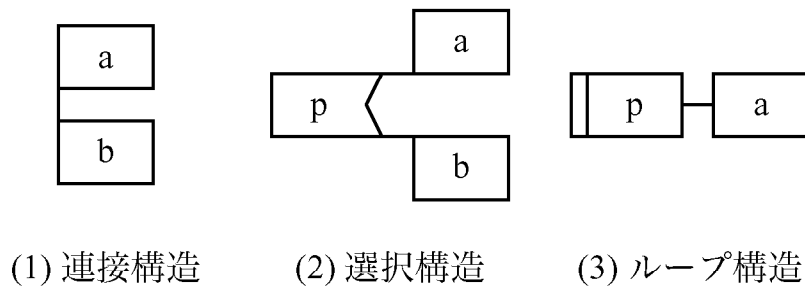


図 1.6 PAD

ここで、図 1.5 の TS チャートを用いて木構造の特徴を説明する。(1) の接続構造はフローチャートの場合と同じ記述である。大きく異なるのは、(2)